

# 道路改良工事に待った

## 付帯決議をつけて14：7賛成多数で可決

### 付帯決議

- 1 財政再建が急務となっているが、財源をはじめ収入増を常に心がけ、不要な支出を避けることは勿論、補助金等、適正な見直しを検討されたい。
- 2 住民自治の振興について、自治組織の支援はもとより、新規の道づくり事業等は住民自治が真に要望に沿った方向で執行すること。
- 3 執行にあたっては、住民の福祉、暮らし、サービスの後退を招かないよう、教育を含め、特に少子化対策に万全をきされたい。
- 4 下水道事業の見直しを早急に検討すること。
- 5 審議の過程において指摘した事項については、今後の行政執行に反映されたい。

・総事業費は15億6千9百万円、今年度事業費は7億2千6百万円で山福田、大見、東、伊尾、中央、宇津戸の6地区が工事決定。H20年度においては、残りの7地区の工事を行い、H21年度より町内すべての地区で供用開始となる。加入金2万1千円が必要だが加入促進期間中は無料となる。なお、月額使用料は、基本チャンネルで1千50円。

### ケーブルテレビ事業 平成19年度工事区域



### 平成20年度工事区域



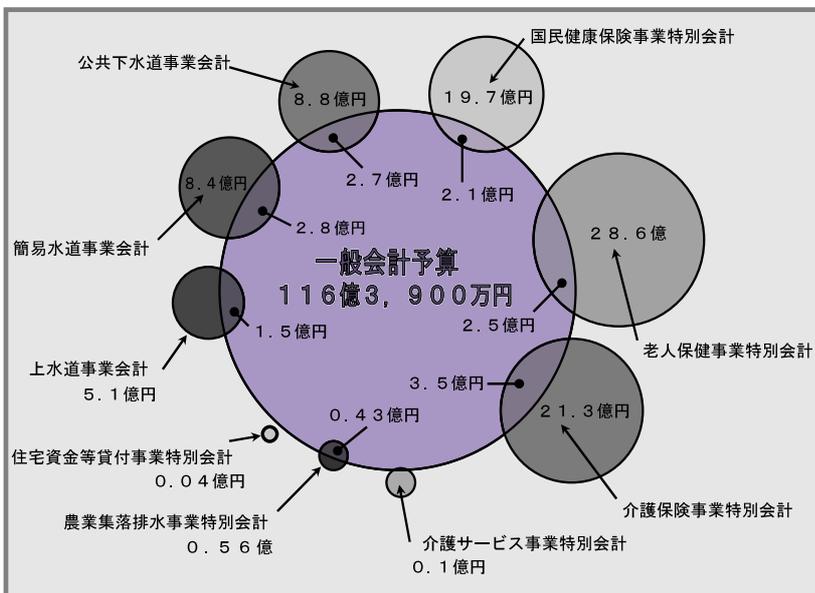
**A** 国の補助率(1/3)の関係で、2年にした方が安くできること。世羅でも2008年から、地上波デジタル放送が始まるため、少しでも早くサービスを提供したい。

**Q** なぜ3年計画の事業を2年にしたのか。

### 平成19年度予算関連図

グラフの見方

- 予算名、予算額、大きさは予算額に比例
- 重なった部分は、一般会計からの繰出金



平成19年度 一般会計116億3千900万円決まる。

財政緊縮の中

# CATV事業 前倒し!

## 道路橋りょう費 2億4千万円削減

H18年度に比べ、1億3千300万円の増額予算となり、  
税制改正により「所得譲与税の廃止、地方交付税の削減」で町税が増えるが  
基金4億9千万円を使つての厳しい予算成立となる。



デイサービス 大切な作業の送迎

介護サービス事業特  
別会計予算991万  
円

**Q** 在宅サービスに  
対する考え方は。

**A** 介護サービス利  
用費用、施設利  
用費用が全体予算の7  
割を占める。今後は、  
在宅サービスの充実に  
つとめる。

パスポートを発行

**Q** 旅券交付窓口端  
末保守の内容  
は。

**A** 県からの権限移  
譲で、6月4日  
より、世羅町の窓口で  
も旅券発行を行う。

使用料が上がる

7月から使用時間が一  
部変更され、新たに冷暖  
房使用料が必要になる。  
リハビリプールの使用料  
は1600円加算(無料の  
方は1600円)される。

**Q** 料金値上げの理  
由。対象者。影  
響額は。

**A** 運動指導員を配  
置するため。  
延べ2250人の利  
用者があり、内600  
人程度が新たに160  
円必要となる。  
光熱費として3万3  
千円程度、使用料とし  
て26万円程度予定。

ふるさと道作り事業

**Q** 基本的な考え方  
と内容は。

**A** 町道を住民自ら  
が整備する事  
業。原材料・重機借り  
上げ料を支給、設計は  
町で行う。

国民健康保険事業特  
別会計予算19億71  
09万5千円

**Q** 国保税等との考  
え方、基金繰入  
額、繰入れ後の基金残  
高は。

**A** 保険税率の決定  
に当たり、決算  
見込みを配慮してゆき  
たい。9795万1千  
円を繰り入れている。  
残高は2億3342万  
4千円。



議案43本審議

●報酬等を削減  
町長の報酬をはじめ  
職員の給与を、引き続  
き昨年と同様削減し  
た。

●八田原グリーンパー  
クの指定管理者決ま  
る。

4月から、福山市の  
内田鉄工建設(株)に管  
理してもらうこととな  
った。

●町が砕石業者を認定  
する。

4月から県に代わっ  
て世羅町が砕石業者の  
認定事務を行う。

**Q** 現在、町内の該  
当業者は何社  
か。

**A** 2業者で、認可  
期間8年。届け  
出のない砕石業者は県  
が指導し、町が引継ぐ。

# 3億181万円減額 (12：9賛成多数で可決)



減額の主なもの	
項目	金額
障害者施設支援扶助費	13,000,000
居宅生活支援扶助費	7,800,000
生活保護法による扶助費	56,373,000
簡易水道事業会社への繰出金	3,320,000
工事請負費（高速道関連）	12,385,000
常備消防世羅西出張所建設負担金	19,350,000
簡易水道事業特別会計へ繰出金	14,150,000
上水道事業会計へ繰出金	33,200,000

**当初予算**  
115億6千万円

●問題あり  
自治振興補助金の減額

**Q** 自治振興補助金71万2千円、地域自治活動助成金65万8千円の減額は問題では。

**A** 自治振興補助金、地域自治活動助成金は大組織、公民館単位の組織への補助金、助成金で、13地域の中で甲山公民館エリアについては、今、現在、地域の皆さんと公民館、企画情報課を中心に設立に向けて取り組んでいる。その分71万2千円を不用額として減額した。活動助成金は、先の理由と戸数などの増減による補正。

●求む  
住民サービスの適切対応

**Q** 生活保護扶助費の5千600万円の減額は福祉事務所の設置などの中での見込み違いか。申請などの適切な対応が必要である。

**A** 福祉事務所の設置にあたり国県が過去3年の実績をもとに、当初予算の計上をした。15・16年がピークで保護世帯100世帯であったが、現在は66世帯で大幅に本町は減っている。亡くなられたり介護施設に入所されたり必要がなくなるケースも多い。当然新規に必要なかたには十分相談に応じ、早めに結果をだし、生活の自立支援につながるように今後も取り組む。

●どうなる  
特別地方交付税

**Q** 特別地方交付税は当初5億5千万円であったが25%の減額か。

**A** 前年度比が1割超を減じた県の指導もあり、1億4千万円減とし4億1千万円とした。7億5千万円の限度の中で交付となる。



保健センターで対応中

●消防団退職手当で  
徹底論戦

**Q** 消防団員の自主退職者のなかに飲酒運転の事実があった後に、退職された団員また住民から聞いた。昨今、飲酒運転について厳しく取り組む中で報償金を払うのは町民の理解が得られないのでは。

**A** 退職報償金については、世羅町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の中へ退職報償金支給の制限の欄が第8条にある。その1から5までの制限に該当するかしないかであり、自主退職の申し出の場合1から5に該当しないとして事務的に手続きを進めている。